

がんばるバイクショップの

情報マガジン

ヤマハ ニュース

Yamaha News



特集●ニューモデルのお客さま

私はここが気に入った!

ハローナイスショップ●根岸オート

点検・修理で信頼をつかむ

YAMAHA NEWSインタビュー⑮

●ライジングサン・セキュリティサービス

バイクはセキュリティの最新ツール

1996 No.392

4

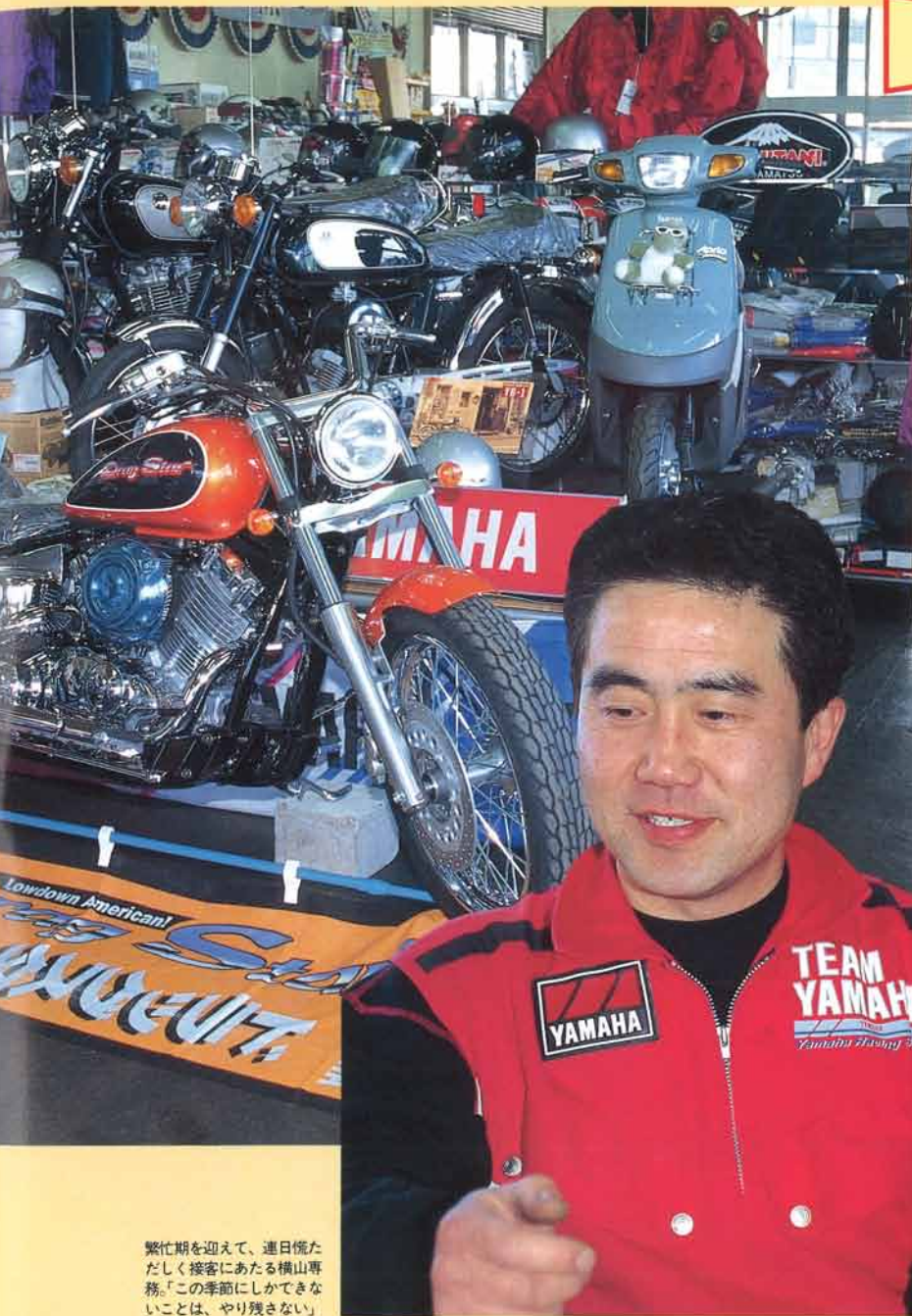
A P R.

Renaissance. ボクの新しいパートナーを紹介しよう。こいつを転がすのに、よけいな気づかいや気遣いは一切無用。いつもの着慣れた革ジャンとゴーグルがあればいい。もはや、それはライフスタイルの一部なのだから。

拝見！となりのお店

HELLO NICE SHOP

ハローナイスショップ



根岸オート286バイパス店
宮城県仙台市(横山隆専務)

点検・修理でお客さまの信頼をつかむスポーツショップ 来店者数が増える春は 自店の特徴を表現する季節

販売のアフターサービスとしてのメンテナンスを、販売のためのサービスに……。そんな逆転の発想で、お客さまから高い支持を受けている根岸オートさんは、同店の二代目、専務の横山隆さんは、「事務的でないメンテナンスこそが、お客さまとの深い関係を結ぶ」と語る。

長い冬を終え、ライダーが活発となる春を迎えた東北地区のバイクショップ。特にドラッグスターやXJR400RⅡなど、話題性の高いニューモデルが顔をそろえた今春は、例年よりもはるかに店頭が活気づいているようだ。

横山隆専務にそのあたりをうかがうと

「毎年のことなのですが、ライダーが動き出すこの季節になると、長い間格納していた愛車を整備するために来店者数もグンと増えます。ですからこの時期にお客さまの満足度を高めることは、その後の長いおつき合いにもつながってくるんです」と、北国の春の重要性を語ってくれた。

繁忙期を迎えて、連日慌ただしく接客にあたる横山専務。「この季節にしかできないことは、やり残さない」



根岸オート286バイパス店

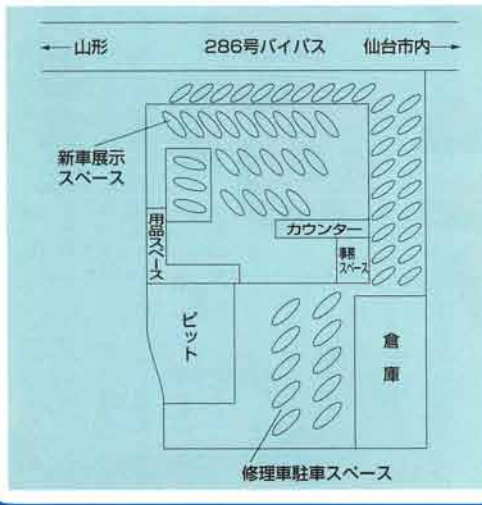
宮城県仙台市

同じ仙台市にある根岸オートの支店として、9年前にオープン。店舗は仙台と山形を結ぶ国道286号線のバイパス沿いに立地する。周囲は近年急激にベッドタウン化が進む住宅地で、16~50歳前後まで客層は幅広い。「MOTO-FAST」という自店チームで、全日本および地方選手権ロードレースにも参戦する。

●店舗面積：130坪

●商圏：スクーター・10キロ

スポーツ：40~50キロ

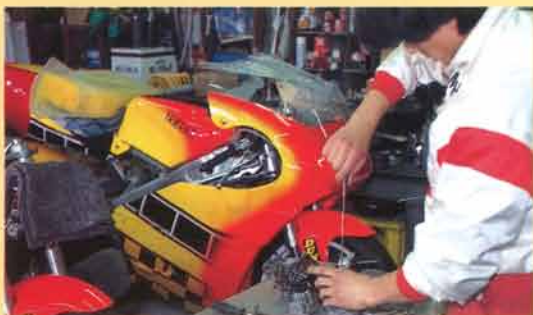


YTSをはじめとする各種の資格も、お店の技術力の表現に一役買う



この春一番の話題は、何と言ってもドラッグスターの登場。話題のニューモデルが、より多くのお客さまをお店へと誘っている

課題は「見せる」要素。店内にはこんな演出も



積極的なレース活動は、お店の個性のひとつ

「一度ウチでメンテナンスをしたお客さんは、その後もずっと通ってくれる人が多いんです。再修理やクレームもまずないし、ウチの技術と接客はそれなりに認めてもらっていると自負をしています。また、それがアピールできるのが春なんですよね」

こうしてスポーツバイクの販売を伸ばしてきた同店だが、悩みもある。幅広い品揃えをセールスポイントとして展開してきたため、展示車の数に対して店舗が手狭になってきたことだ。そこで、「近い将来、大幅に改装する予定」もあるという。その改装が実現すれば、新たなお店の魅力として「見せる」要素が加わることになるだろう。

横山専務。

そんな同店の姿勢は、お客さまからも強い支持を受けているようだ。

「たくさんバイクを販売する店ほど、アフターサービスに手が回らなくなってしまいがちですよ。そこでウチではサービス部門に他店より力を入れることで、店の個性を訴えてきました。もちろんそれがウチで買ったバイクでなくても構いません。お客さんが広がるわけですから、むしろ歓迎しますよ」と、

「たかさんのバイクを販売する店ほど、アフターサービスに手が回らなくなってしまいがちですよ。そこでウチではサービス部門に他店より力を入れることで、店の個性を訴えてきました。もちろんそれがウチで買ったバイクでなくても構いません。お客さんが広がるわけですから、むしろ歓迎しますよ」と、

「たかさんのバイクを販売する店ほど、アフターサービスに手が回らなくなってしまいがちですよ。そこでウチではサービス部門に他店より力を入れることで、店の個性を訴えてきました。もちろんそれがウチで買ったバイクでなくても構いません。お客さんが広がるわけですから、むしろ歓迎しますよ」と、

「たかさんのバイクを販売する店ほど、アフターサービスに手が回らなくなってしまいがちですよ。そこでウチではサービス部門に他店より力を入れることで、店の個性を訴えてきました。もちろんそれがウチで買ったバイクでなくても構いません。お客さんが広がるわけですから、むしろ歓迎しますよ」と、

「たかさんのバイクを販売する店ほど、アフターサービスに手が回らなくなってしまいがちですよ。そこでウチではサービス部門に他店より力を入れることで、店の個性を訴えてきました。もちろんそれがウチで買ったバイクでなくても構いません。お客さんが広がるわけですから、むしろ歓迎しますよ」と、

「たかさんのバイクを販売する店ほど、アフターサービスに手が回らなくなってしまいがちですよ。そこでウチではサービス部門に他店より力を入れることで、店の個性を訴えてきました。もちろんそれがウチで買ったバイクでなくても構いません。お客さんが広がるわけですから、むしろ歓迎しますよ」と、

特集●ニューモデルのお客さま

私はここが 気に入った!



春商戦真っ盛り!一足早く動き始めたスクーターに続いて、いよいよスポーツバイク需要も大きく弾みがつく時期だ。この先ゴールデンウィーク、ボーナス、夏休みが待ち受ける今こそ、お客さまの声に耳を傾けて拡販策につなげたい。そこで今回の特集は、ドラッグスターとXJR400R II、YB-1にターゲットを絞り、実際に購入されたお客さまから購入動機、商品の魅力、ライフスタイルなどを探ってみた。車種選択のアドバイスやセールストークにお役立ていただきたい。

信頼感+新鮮さが魅力
着実な進化を感じます

松山卓司さん
(27歳/京都市右京区)

私、R IIの前は初代のXJR400に乗ってたんですけど、3年間ぐらい。最初DT50に始まって、FZR400、ジールと乗り継いでXJRにたどり着いたんですが、XJRはやっぱり最高ですね。見た目にカッコよくて、しかも乗りやすく、速い。自分の求めるすべての条件を満たしてくれる1台でした。

それでもR IIに乗り替えたのは、特別動機があったわけじゃないんです。東京モーターショー以降、雑誌にいろいろ載ったじゃないですか。それを何となく見ているうちにだんだん欲しくなっちゃって……。

XJR400R II

特集 ニューモデルの お客さま



特に、デジタルメーターは新鮮でしたね。これ付けてるバイクはほかに少ないし、なんといってもイルミネーションがカッコいい。それと、小型カウルがついたフロントまわりのデザインも好きです。前のXJRからブルーの外装、パーツを移植したり、多少カスタムしただけでかなり個性的になりましたね。

ただ、カッコだけで選んだわけでもないですよ。例えばレーサーレプリカはカッコいいけどポジションとか取り回しがしんどい。その点RⅡなら、ベースは乗り慣れたXJRですし、しかも格段に性能が良くなっている。ブレノボのブレーキやオーリンズのサスなどを含めてね。まだ毎日の通勤や町乗りでしか使っていないけれど、進化ははっきり感じます。点数？ 90点以上はカタイでしょう。

個性的なスタイルと 期待を越えた高性能

阿部敏さん

(24歳/東京都足立区)

RⅡを買ったのは、昨年末、バイクを壊しちゃったからなんです。それまでは初代のXJR400に乗っていて、すごく気に入ってたから乗り替えるなんて思いもしませんでした。

でも、行きつけのYSPに相談したら修理代がかなりかかるし、買い替えた方がいいよとすすめられて……。どうせ買い替えるなら違うものにしようという車種を考えたんですけど、結局RⅡに決めたのは、やっぱり

ヤマハが、XJRが好きだったから。とりわけ、フロントカウルのついた精悍なマスクとデジタルメーターは、RⅡならではの特徵。店の人がいうとおり、文句なしにカッコいい。ほかとは違うヤマハらしいネイキッドバイクですね。

エンジン性能とか乗り味については初代のXJRでわかってましたし、それにブレノボのブレーキやオーリンズのリアサスなどが加わって、さらに良くなってるはずだと信じてました。実際乗ってみても、期待を裏切らない仕上がります。

形が変わったシートもいいですね。身長160cmの私でも楽に足が着くし、腰の取まりもいい。ツーリング先で峠道を走るのが楽しくなりそう。それに、ワイラックスっていうんですか？ その新しい素材のおかげか、疲れにくくなったように思います。

今は仕事が忙しくてただけど、もう少ししたらぜひツーリングに行って、じっくり楽しみたいです。

ネイキッドを越えた レーシーさが好き

山崎栄一さん

(26歳/東京都練馬区)

実は私、ずっと2スト・レプリカ党だったんですよ。87年式、89年式、93年式……とTZRばかり乗り継いできたんですが、歳も歳だし(?)、そろそろ落ちついたオートバイに乗りたいなと思って。これまでは友人と夏休みを利用したツーリングで使うことが多

かったけれど、この頃は通勤の足としても考えていましたし、ね。それで白羽の矢を立てたのが、このXJR400RⅡでした。

XJRシリーズには、デビュー当初から興味がありました。でも今回ついに購入に踏み切ったキッカケは、ピニカウルとデジタルメーターの装備があったことかな。何といっても、Nクレースを彷彿とさせる、キリリとしたつくり込みがいいですね。

後輩がYZFを買ったお店に行っているんですが、ここの親父さんが面倒

みがよくて、いい味出してるんですよ。ちょっとした質問でも親身に考えてくれるし、それに、すぐにメモを取ってくれるんです。こんなこと、今まで行ったバイクショップではなかったな。アフターパーツの相談をしても、カタログがササッと4〜5種類くらい出てくるし、相談すればきちんと答えてくれるんです。ホント、「この人なら部品注文のし忘れもないだろうし、安心して愛車を任せられるな」って信頼しています。

スタンダードのXJRからRⅡに乗り継いだ阿部敏さん。「質感、性能ともに大きく進化している」と満足そう



プランクを帳消しにしてくれる乗り味

小川哲也さん

(34歳/和歌山県橋本市)

16歳で自動二輪の免許を取り、しばらくは乗っていたんですが、その後、約10年間のプランクがあります。再び乗り始めたのは、ここ数年ですね。キツカケは通勤用に買ったマジエスティでした。通勤とはいえ、乗ってるうちに楽しくなって、昔の血が騒いだというか……もつとコーナーを味わいたくなつたんです。スクーターの形状だと、ちよつとバンクしただけで、どうしてもガードを擦ってしまうのでね。正直言うと、最初はホンダのロードスターが欲しかったんですよ。でも、いろいろなパーツ交換をトータルで考えた時、だったらRⅡの方がいいんじゃないかと思つて。

RⅡにしてからは、よりオートバイらしい感覚が味わえて、通勤がグツと楽しくなりました。家内にはあきれられますが、雪が降っても乗って行くくらいなんですよ。おかげで距離がとんとん伸びて、1月末の納車だったのに、メーターは2000kmを越えました。不満な点があるとすれば、これはヤマハ車全体に言えることなんですが、ポジションランプがないことくらいかな。やはり、視認性は大切ですから、私は後から付けました。バスの運転手をやっているという仕事から、オートバイの危なさも十分に分かっているつもりなので、そういう努力は惜しまたくないんです。

バイト通勤も通学も今まで以上に楽しい!

長友健史さん

(19歳/大阪府門真市)

今年の2月にオートバイの免許を取ったばかりなんです。教習車輛がホンダのCB400SFだったので、乗り慣れているし、馴染みもあったので、「こういうバイクにしよう」と思つて真剣に搜しました。始めてのバイク選びだから、慎重に取り組みました。

まず最初は、具体的な車種を決めるところから始めました。実際に購入したXJR400RⅡの他に、CB400SF、カワサキのゼファーとZX6Rも候補に入れて、それでいろいろバイクショップ巡りをしたんです。それぞれの販売店を訪ねて話を聞いたり……で、じっくり考えたすえ、RⅡにしました。どうしてかって? そりゃあ、ショップの人が良かったからです。もちろん、バイクも気に入ってますけど、僕みたいな初心者が質問しても、いろいろ親切に教えてくれる所つて、意外となんてすよね。その点、今のお店は丁寧に対応してくれて、僕の分からないことも、面倒がらずに教えてくれたんです。だから、買うならこの店だという気になりましたし、RⅡをすすめる言葉も信用できました。いつもは、バイトに行く時に使ったり、京都市内にある大学まで通学する時に乗ったりしています。学校までは30分くらいかかるんですが、XJRとなら通学が楽しい。乗りやすくて、いいバイクですね。休みになったら、

初めてのツーリングにも出かけてみたいな、と考えているところです。今は

毎日が楽しく、本当に買って良かったと思つています。

Drag Star



一目惚れに近い印象 実車にも大満足

山田耕一さん

(22歳/埼玉県浦和市)

コイツには、オートバイ雑誌に載っている写真を見て、まず惚れ込んだじゃありませんか。こういう言い方をすると苦笑されるかもしれないけど、「おつ、オレの乗るバイクはコレだッ」という

感じで、発売日をチェックして、近くのバイクショップに見に行つたんです。仕事に行く時に使いたかったから、乗るならアメリカンかな、という気持ちは漠然とあったんですが、店頭で実車を見たら、もう本当に「これしかないぞ」と思つて……。

ちなみに、その時見たのはオレンジのヤツで、自分の愛車もそれです。アメリカンって、割と地味めのカラリングが多いじゃないですか。そんな中で、ドラッグスターって目立つし、光ってるって感じですよ。スタイリングもいいし、どつしりと乗れるし、他のアメリカンみたいにありふれた感じじゃないのが最高ですね。

ちなみにショップを決めた理由は、バイクのタマ数が多い大型店だったから。でも実際にお付き合いしてみると、単に大きいお店というだけでなく、スタッフの対応が早いのが嬉しいんです。工場設備が充実しているので、アフターサービスも信頼できそう。メンテナンスの面で安心できるって、ポイント高いですから。



バイクとロックミュージックには共通点があるという矢澤哲雄さん。Vツインの本格派アメリカンが好きでドラッグスターを選んだ

何台も乗り継いで ここまでどり着いた

梅田和義さん
(58歳/京都府久世郡)

私はいわゆるカムバックライダーになるんですかね。若い頃はそれこそナハンでも何でも乗ってましたよ。現在の国内4メーカーはもちろん、BMW、ハーレー、そうそう陸王なんかも乗りましたね。だけど自分の店(割烹料理)が忙しいこともあって、乗りたいう気持ちはあるんだけど、こじしばらくはオートバイから遠ざかっていたんです。たまに、ホンダのゴールドウイングを眺めにバイクショップにいったりはしてんですが、いま一つ、購入には至りませんでした。

ところがある日、店に来た若いお客さんが雑誌を見せてくれましたね。そこにはまたまたドラッグスターが紹介されていたんですよ。ふと見た写真の印象が良かったから、スベックなんかもじっくりと読んでみたんです。そして、何だか自分のイメージにしっかりときたんだな。若い頃に乗っていたのと比べると小排気量だけど、まあ、年齢的な体力も考えると、ちょうどいいかな、という気になってきた。

それで、実際にショップに行くと、カタログをもらって、ビデオを見て……で、そのまま契約してしまいました。エキゾーストノットはビデオで聴いたから納得できたし、実際に乗ってみても思ったよりしっかりと作ってあるし、いい手応えを感じています。カラーリングはブラック/シルバー。スタ

イリングもお気に入りですよ。

ロックのリズムに 通じるオートバイ魂

矢澤哲雄さん
(20歳/東京都大田区)

新潟の実家にいた高校時代は、原付バイクに乗っていました。うちの父がやはりオートバイが好きで、ガレージには若い頃に乗っていたというハーレーがあつたんです。だから僕自身も自然とバイク好きになって、つい最近、ずっと欲しかった中型免許を取ったんです。

バイクを買うならVツインがいいなと、ずっと思っていました。それでホンダのマグナム一度は候補に挙げてみたのですが、やはり本格的なアメリカンにこだわりたいので、ドラッグスターに決めました。

このバイクには、暇さえあれば乗っていたいと思いますね。とにかくとんとん付き合いたい。実際乗っていても本当に扱いやすいし、お店の人も「カッコ良くていいバイクですよ」と勧めてくれました。長いホイールベースと低めの車高もお気に入りで。乗る時は自分も皮ジャンでビシッと決めたりにしてるんですよ。

そうそう、僕は友人とロック・バンドを組んでいるのですが、オートバイとロックって、どこか重なる部分があるんです。ライブもやるんですが、そういう時はドラッグスターでさっそうと乗りつける……なんてカッコイイと思いませんか？

一番のお気に入りは 迫力のリアビュー

坂口幸洋さん
(32歳/滋賀県長浜市)

実は遅咲きで免許を取ったものですが、まだバイク歴は浅いです。この前まではFZR250を友人から譲ってもらって乗っていました。「前」と行っても、まだFZRも所有していません。ただ、ドラッグスターが家に来てからというもの、車体カバーをかけて封印状態ですすけどね。

ドラッグスターはオートバイ雑誌で見たんですが、スタイリングを見た瞬間、気に入りました。実際に自分の目で確かめたかったので、名古屋のモーターショーにも出掛けて実車をチェック。ここで、もう絶対買うぞと決心したわけです。

買ったショップ(大阪)は遠いので、正直いうとまだ遊びに行ったこともないんです。でも、そのスタッフの実家がうちの近所で、彼が月に何回か帰省するので、その時メンテナンスしてもらったり、いろいろ相談にのってもらったりしています。私より若い方なんですけど、しっかりとっているし、マメにやってくれるので、ショップが遠くても安心しています。

それに、実際に乗ってみると、ドラッグスターはイメージ以上に乗りやすいノ、スタイリングもエキゾーストノットも、それにリアビューの迫力も抜群です。これからも長く付き合っていきたいと思っていますよ。

このスタイリングには ほれほれしています

川村国彦さん

(43歳/大阪府河内長野市)

私の場合、ずっとオンロード車とオフロード車を並行して乗ってきているんです。オフの方は10年選手のセローですが、ここ3年ほどはオンロードモデルはお休み、セロー一台で通勤もチャイ乗りもこなしていました。

それと、今までずっとオンロードはホンダ車を使い続けていて、実はこのドラッグスターを買うまでも、何回かステイードの購入を考えていました。「40歳過ぎたらアメリカかな」なんて思っていたのでね。でもステイード

に決めきれなかったのは、あのお弁当箱みたいなラジエーターなんです。あれがあると、どうもスタイリングのバランスが崩れるような気がして、

常々「水冷はイヤだな」と思っていたら、ドラッグスターでしょ。たまたま雑誌で見かけたんですけど、すぐにショップへ見に行きましたよ。店頭にあったのはオレンジで、私はそれを買おうとしたんですが、女房が派手だと言っているので、無難にブラック/シルバーにしましたけど。

でもやっぱりアメリカンはいいですね。恰好をビシッと決めなくても、構えずに乘れる懐の広さがありますし、腰が低くて乗りやすい。デビューしたばかりだから、あまりありふれた印象のない点も「買い」ですよ。

レトロ調のデザインと 原付の手軽さに満足!!

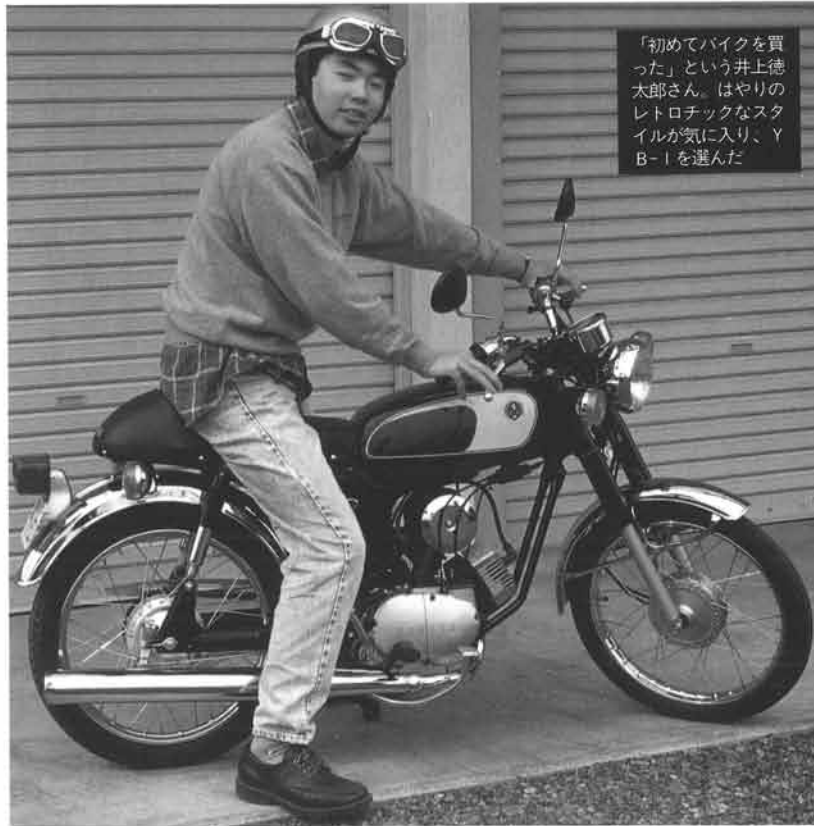
井上徳太郎さん

(19歳/埼玉県狭山市)

ボクは自動車の免許を持っているんですが、自分のクルマを持っていません。自由になる自分の足が欲しかったので、改めて免許を取る必要がない原付を買おうと思っていました。

スクーターよりは、今流行っているレトロ調のスタイリングを持ったバイクがよかったので、ホンダ・ペンリイあたりはどうかと検討していたんです。そんな時期にYB-1が発売されたんです。ちょうどボクが望んでいた

「初めてバイクを買った」という井上徳太郎さん。はやりのレトロチックなスタイルが気に入って、YB-1を選んだ



ようなレトロ感覚のデザインだったので、すぐに購入を決意しました。

バイクを買うのは初めてで、どのシヨップが良いのか分からなかったの、友人が勧めてくれたシヨップに足を運んだんです。最初はちょっと入りにくかったけど、シヨップのおじさんはとても陽気で親切な人で、安心して購入することができましたよ。出たばかりの新車だったので、ヘルメットや諸費用などの面でのサービスがあったので、買得感もありました。

買い物などのチャイ乗りがほとんどですが、とても気に入っています。オワン型のヘルメットにゴーグルで、ちょっとレトロ・ファッションを楽しみながら走り回っているんですよ。

憧れのSRを想って 選んだYB-1

藤井一嘉さん

(16歳/東京都足立区)

友達がSRに乗っていて、ずっと「いいな、僕も乗りたいな」と思っていたので、とにかく誕生日がきたらすぐに原付免許を取りました。それが2〜3週間前のことなんです。そして、やがて乗るSRのために、このYB-1を買ったんです。初めてバイクに乗るわけですから、まずはクラッチの練習をしたいと思います。

ほら、YB-1って、タンクの形がSRに似てるじゃないですか。シブめでカッコいいから、すごく気に入って

手軽に乗れるのが 何よりの魅力

逢沢亜月さん

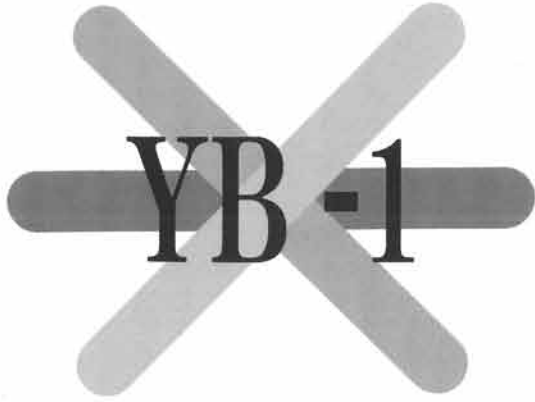
(20歳/神奈川県川崎市)

中型免許は17歳で取りました。その当時から家族で使っているスクーターが1台あったんですが、友人が貸してくれたホンダCB400SFにしばらく乗っていた時期もあります。でも、自分のバイクとして買ったのは、このYB-1が初めてですね。

購入したバイクシヨップへ行くまで、YB-1というオートバイがあること自体、実は知りませんでした。でも、その時ちょうど原付を探していて、何件か回っているうちにそのお店に展

ます。今日の時点で、354km走ってるんですよ。一番遠乗りしたのは、渋谷の友人宅まで遊びに行った時かな。途中で同じバイクに2〜3台会って、「売れてるんだな」と実感しました。あんまり増えるのも何ですけど、反面「僕の選択は間違っていないかったぞ」という気分にもなりますね。

今ではバイクに乗るのもだいぶ慣れてきて、クラッチ操作も自信がつきました。通学に使っていますが、エンストなんかはしたくないです。そのうち教習所に通って、中型免許も取るつもりです。そして次はSRですよ。その時はYB-1は卒業かな。誰か、大事に乗ってくれる友だちにでも譲ることになるでしょう。それまではできるだけたくさんYB-1に乗って、うまいライダーになりたいと思います。



示されていたYB11を見つけたんです。外に置いてあったからすぐ目に留まって、「あ、これがいい」と感じて衝動買いしてしまいました。言ってみれば、めぐり逢いってヤツですね。

私はもともとレトロチックな雰囲気のおートバイが好きなんですけど、そういうのって古くて、修理やドレスアップにお金がかかるじゃないですか。私にとってバイクはあくまで足代わりですから、そこまで手間ひまかけられない。だから、新しいメカで壊れない、でも雰囲気はしっかりとっている、そんなYB11はちょうどいいバイクだったんです。

身長が160cmの私は、自宅の狭い駐車場から400ccのおートバイを出すだけでも、重くて面倒。だけどYB11が来てからは、そういうことはなくなりました。いつでも気軽に、チョイ乗りができるんです。軽いし、乗りやすいし、便利です。お陰でフットワークが軽くなりました。

今は、学校に行く時やビザ屋さんへバイトに行く時に使っています。今後は、原付仲間の友人たちと、バイクを使ってピクニックみたいなミニツーリングもしてみたいですね。

今度の夏休みは YB11で海へ行くぞ

斉藤幸人さん

(18歳/京都府久世郡)

友達は、たいていYB11かCD50に乗ってるんです。それに僕自身、SRが好きで、最初はYB11かCD50

か、どっちにしようか迷っていたんですが、スタイリングの面から、結局YB11を選びました。雑誌で見ていてカッコ良かったですからね。

SRって、見た目が本当にカッコいいですよね。むちゃ、バイクらしいって感じで、いいですよ。それで、そのSRに通じる雰囲気を持っているYB11もいいじゃないですか。乗りやすいし、楽しいし、最高です。本当いこうと、いつかはSRに乗りたけれど、YB11には、その感覚に近い満足が感じられるんです。

このYB11は、僕にとっては初めてのバイク。免許を取るまでは電車でしか旅行したことがなかったんですが、この前ついにツーリングを実現しました。友人と滋賀県の方へ出かけたんです。その時分かったのは、おートバイで移動する自由。駅と駅をつないで旅している時とはまったく違う感じがあって、すごく感動しました。

これからはいろいろな所へ、どんどん出かけて行きたいと考えているんですよ。たとえば、夏には舞鶴の海にYB11で出かける……なんていいと思いませんか。

バイク乗りのプロ 郵便配達員の選択

増島春男さん

(42歳/埼玉県新座市)

YB11は、通勤に使うために買いました。以前はスクーターに乗っていたんですが、便利ではあるけど、ちょっと飽きてしまいました。実際に購入

のキッカケになったのは、新聞の新製品紹介コーナーでした。ある朝、そこにYB11が載っていて、それでバイクショップへ行つたのです。

その時は1月だったんですが、今にして思えば、ちょっと失敗したかな。春になって暖かくなってから買えばよかったですよ。1月といえば極寒の時期でしょう。朝は特に辛くて……

バイクの性能について言えば、出足がしっかりとっていて好感が持てる。加速もいい。だけど、リアの泥ハネだけは気になるな。雨が降っている時はもちろん、雨上がりの時にうっかりスリッパで乗ろうものなら、真っ黒になっちゃう。このタイプのバイクはしょうがないのかなと思うけど……。そのへんさえ除けばなかなかいいバイクだと思いますよ。

70年代の雰囲気 YB11購入の決め手

大谷大輔さん

(17歳/埼玉県入間郡)

このバイク、初めての自分のバイクなんです。ちゃんと自分で買いました。まだ、ローンもあります。お金はコンビニエンスストアでアルバイトをして貯めていますから、そこから払っていく予定です。

今、友だちの間では、ビジネス系のバイクって流行ってるんですよ。CD50とか、K50とか、みんな、こういうタイプに乗っています。だけど、シートは交換している人が多いなあ。やっぱりあれじゃダサイから……。

僕はスノーボードなんかやるんですが、あまりポーター系のファッションはないんです。そういうのだと、どうしてもYB11に乗った時、浮いちゃうんですよ。だから、着るのは古着系。古着屋さんへ行ったりもするんですが、父親のタンスを探したら、いいコートが1枚あって、もらっちゃったりね。

YB11って、レトロなところがいいんです。なんか、70年代って感じがするでしょう？ だからこそ、古着で乗るのが似合うんだし。それに、そういうバイクに乗って、友だちの家に遊びに行ったり、家の近くを走ったりするのがカッコイイんですよ。友だちとは、よくファミリーレストランなんかへ行くんですが、そういう時、YB11で行くと、自分でもいい雰囲気だと思って思います。

バイク自体については、1速での力があってすごく走りやすい。それと、スタイリングが気に入っています。欲をいえばウインカーがもう少し小さくすっきりとキマってれば最高なんだけどなあ。



株式会社

ライジングサン
セキュリティサービス



TALK

八木 均さん

[ライジングサンセキュリティサービス代表取締役]

ライジング サン セキュリティサービス
(東京都渋谷区)

昭和59年設立。箱根駅伝の警備やマイケル・ジャクソンの特別警備など、イベントやVIPの警備で高い実績を持つ。またバンクセキュリティやキャッシュデリバリーなど、業務の幅は広い。3月より業界初の通信衛星を導入したカーセキュリティシステム「イーグルアイ」が始動。業界内外から高く注目されている。

「リスク・マネジメント(危機管理)」が叫ばれる時代のセキュリティとは一体どんなものか?

国内有数の警備会社・ライジングサンでは、

その答えのひとつとして、通信衛星システムを活用した

機動力の高いカーセキュリティシステム

「イーグルアイ」を挙げています。

バイクがその中枢を担うという「イーグルアイ」について、

同社社長・八木均氏にお話を伺った。

危機管理システムの切り札として登場した「イーグルアイ」とは、どんなものなのでしょうか?

わが社は、イベントの警備やVIP警護などの特殊警備をはじめ、さまざまなセキュリティ業務を行なっていますが、それらの経験の中から、特定の建物や場所の警備だけでなく、例えばVIPが車輦で移動するときにはどうすればよいか、という問題が持ち上がってきました。VIPが移動中に事故や事件に巻き込まれてしまった場合などですね。そこで生まれたのが、通信衛星システムを使った「イーグルアイ」です。衛星がセンサーを設置した車を追跡し、それを地上管制センターでモニターしながら、その車が目的地に着くまで異常がないか監視するシステムです。

システムを構築する際に最も重要視されたのは、どういったことでしょうか?

緊急事態が発生した際には、警察や救急センターと連絡をとりながら、ス

タッフが問題の車輦に迅速に対応する、という仕組みになっています。そこで重要なのは、動いている車輦までいか

バイクは セキュリティの 最新ツール

滞が慢性化しており、機動力という点において自動車ではどうしても限界があります。どんなに渋滞した道でも動けるバイクこそが、この「イーグルアイ」の要なんです。管制センターから無線で指令を受けたバイクが速やかに現場に直行する、というのがシステムに欠かせない要素です。

そのような警備の機動性に対する要求が高まってきたのは、いつごろからですか?

バイクを使ったセキュリティシステムというのは、私は10年ぐらい前から考えていました。しかし行政などの規制が厳しかったのもまた事実です。それがこのところ頻発した災害や事

に「速く」到着するか、ということなんです。そしてその際に活躍するのが機

動性の高い「バイク」なんです。ご存知のとおり、都市部の道路は渋

件の多発化によって、「いかに速く、適切な処置を行なえるか」ということの重要性が、より強く認識されるようになったと思います。

しかし、「イーグルアイ」のように、バイクを広範囲にわたって本格的な緊急対応に使うシステムというのは、外国にはありませんが、日本には初めでは無いでしょう。

「イーグルアイ」をはじめとする今後の危機管理システムの展開について教えてください。

情報化社会といわれる中で、我々のビジネスの核となっているものは機動力です。空を飛ぶ情報を瞬時に掴む情報収集力を持ち、スピーディーに対処できるシステムが絶えず求められています。これはなにも都市部に限った話ではありません。今後、日本全国にわたって、バイクの必要性はますます高まっていくでしょう。

バイクの「速さ」と「確実性」は、ほかの乗り物にはない、非常に重要な特性です。我が社では今後、保有バイク台数を数百台にまで増やしていくと考えています。そして、いずれはこの「イーグルアイ」をさらに発展させて、ヘルメットとバイクを組み合わせたシステムの開発など、カーシェアリングなどどんなに拡大しても迅速に対応できるモバイルシステムにしていきたいと考えています。



FROM SERVICE

ツーリングシーズンが始まる今こそ
愛車点検をアピールしましょう

この冬は、関西や九州方面まで大雪に見舞われる、いかにも冬らしい冬となりました。寒さのあまり、つい縮こまってしまっただお客さまも多かったことと思いますが、その分春から夏、秋はしっかりバイクを楽しんでほしいものです。

しかし、長い間休んでいたバイクを久しぶりにひびひびり出して、さあ走るぞ！と意気込む前に、愛車のチェックを忘れてもらっては困ります。無用なトラブルを未然に防ぎ、お客さまの充実したバイクライフを守るため、ぜひとも愛車の点検をおすすめください。

また、そうしたお客さまの信頼に応える正確で迅速なサービス技術の習得には、ヤマハ二輪整備士講習会が最適。お店の新人スタッフ養成や、いつものスキルアップにお役立てください。

■ヤマハ二輪整備講習会

		4月	5月
北海道	各営業所へお問合せ下さい		
東北			
関東			B 東京 14~16 B 神奈川 21~23
中部			B 浜松 21~23 B 静岡 21~23
関西			
中国			
四国			
九州			

※B/ベイスンク M/マスター R/ドクター ※都合により開催変更おひ中止となる場合があります。また、日程のないものなど、詳しくはヤマハの各担当営業所にお問合わせください。

FROM SUGO

いよいよ本格的にシーズン！
スポーツランドSUGOは今年も
みなさんの来場をお待ちしています

ようやく待望の春。豊かな自然とさまざまなスポーツ施設を備えたスポーツランドSUGOは、冬の間休止していた一部施設の営業を再開。ランド・フルオープンしてみなさんの来場をお待ちしています。

りとあらゆるカテゴリーのビッグレース、地域レースを開催。幅広いファンの方に観戦、ご参加いただけます。またレース以外では、家族や仲間どうしで楽しめる恒例。春の「テニスクール」など、ブレイクメニューも充実。宿泊、交通機関の手配まで含めたプランニングが可能ですので、ぜひお客さまをお誘い合わせのうえご利用ください。

FROM SAFETY

恒例『春の全国交通安全運動』は
4月6日(土)～15日(月)まで実施

総務庁、警察庁はじめ関係機関、諸団体主催による『春の全国交通安全運動』が今年も4月6日(土)～15日(月)までの10日間に渡って実施されます。昨年の交通事故状況を見ると、発生件数が過去最高の76万534件に上り、死者数も8年連続で1万人を突破してしまいました。そうしたなかで、自動二輪乗車中の死

9月以降運転免許取得制度改正で
教習システムはこう変わる！

すでに「存じのとおり、昨年4月、道路交通法が改正され、運転免許制度についても見直しが決まりました。

それを受けて、関係各庁庁は具体的な内容の検討を行なってまいりましたが、このたび警察庁より正式発表されましたので、主要内容をご案内します。

まず、「中型限定」と「限定なし」という条件で分かれていた「自動二輪免許」は、

者数こそ減少していますが、原付乗車中は2年連続で増加。決して気を緩められない状況が続いています。今回の運動の重点目標である「子供と高齢者の交通事故防止」などに加え、「二輪事故ゼロ」を達成できるよう、みなさんの積極的なご協力をお願いします。

排気量400cc未満の『普通二輪免許』と400cc以上の『大型二輪免許』にはっきり区分され、大型二輪は教習所で取得できるようにになりますが、これに伴って運転免許所得に必要な教習カリキュラムも9月1日より、表のように変わります。

そのなかで注目すべき点は、中型二輪免許を持っている人が大型二輪を取得しようとする場合、学科免除で、技能12時間のみ受講すればよいわけです。さらに、自動二輪・中型・大型を所有している人が普通四輪を取るときも学科2時間、技能32時間の合計34時間で済む(現行66時間)こととなります。

詳しいお問い合わせは、スポーツランドSUGO (☎0224-833111)まで。



「春のテニスクール」は水・木・金・土曜日のコース/各8回。料金は水・木コース15,450円、金・土コース18,540円(ビジターの場合)

■運転免許教習の時間数(平成28年9月1日施行予定)

現在所有の免許	新たに取得したい免許	普通二輪 16歳～		大型二輪 18歳～		普通四輪 18歳～	
		現行	改定	現行	改定	現行	改定
原付または免許なし	学科	23	32	—	32	34	32
	技能	11	19	—	36	34	34
自動二輪(中型限定)	学科	—	—	—	0	34	2
	技能	—	—	—	12	32	32
自動二輪(限定なし)	学科	—	—	—	—	34	2
	技能	—	—	—	—	32	32
普通四輪	学科	8	2	—	2	—	—
	技能	10	17	—	31	—	—

四月(卯月)

いしづみ

桜前線の北上とともに、暖かな日差しが戻ってきました。店頭も、春らしい陽気と期待のニューモデルに誘われてたくさんのお客さまで賑わっていることでしょう。

しかし、4月は新しい進学・就職の季節でもあり、商圏内の人の出入りが激しくなっています。目の前の来店客だけに気を取られては、フレッシュな層を取り逃がすことになりかねません。アパートや会社の寮、社宅など狙ってポスティングするなど、地道な広告活動もお忘れなく！

- 4月・5月の行事・祝祭日
- 4月1日(月)・・・エイプリルフール
- 4月6日(土)・・・春の交通安全運動
- 4月10日(水)・・・婦人週間
- 4月29日(祝)・・・みどりの日
- 5月1日(水)・・・八十八夜
- 5月3日(祝)・・・憲法記念日
- 5月5日(祝)・・・子供の日・立夏
- 5月12日(日)・・・母の日

- 4月・5月の大安
- 4月/3日(木)・・・○
- 4月/20日(土)・・・○
- 5月/2日(木)・・・○
- 5月/8日(水)・・・○
- 5月/14日(火)・・・○
- 5月/18日(土)・・・○
- 5月/24日(金)・・・○
- 5月/30日(木)・・・○

「セルス・イベントのキーワード例」
「みどりの日・セルス」の日に、来店いただいたお客さまに、もれなく鉢植えの花をプレゼントします。
「母の日・点検・キャンペーン」の日に限り、女性のお客さまの愛車点検を無料で承ります。

これから普通二輪と四輪の両方を取りたい場合は、どちらを先に取っても合計85時間は変わりませんが、普通二輪は16歳から取得可能ですから、四輪を取得できる18歳までの2年間先に楽しめる分、まず普通二輪を取る方が有利といえます。
そのほかお客さまのプロフィールに合わせた免許取得方法をいろいろシミュレーションしておけば、新規開拓、代替え促進にも効果を発揮しそうです。

マジエスティやYB11など ビッグなプレゼントを用意して募集中! あなたの『週末バイクライフ』懸賞

ヤマハでは、今年春からスタートさせた『週末はバイク人』キャンペーンの一貫として、お客さまが考える週末バイクライフの過し方を論文やイラスト、写真にして募集する。週末バイクライフ、懸賞を実施中です。

「もし自分だったら、週末をバイクでこんなふうに過ごしたい」という、夢あふれるプランをお客さまと一緒に作ってみませんか? すばらしいアイデアの作品には、『マジエスティ』1台、『YB11』5台など豪華な景品をプレゼントします。

週末はバイクライフ

たとえ景品をもらえなくても、これを考えていただくことで、お客さまのバイクに対する興味や夢を広げ、走行機会を増やすことにもつながります。現在スポーツバイクに乗っているお客さまだけでなく、スクーターやビジネスバイクのお客さま、あるいは一般の方も含めた幅広い方々に、ぜひご案内ください。

■週末バイクライフ募集

- テーマ:私の週末バイクライフの過し方
- 作品:論文、イラスト、写真など、特に形式は問いません。
- 応募方法:レポート用紙等に住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、自動二輪免許の有無を記入のうえ、作品と同封して郵送ください。
- 宛て先:〒4338 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社『週末はバイク人』キャンペーン係
- 応募資格:バイクに興味をお持ちの方ならどなたでも応募いただけます。
- 応募締切:平成8年5月31日(消印有効)
- 賞典:最優秀賞/マジエスティ(1名)
- 優秀賞/YB11(5名)
- 佳作/マジエスティレホンカード(500名)
- 問合せ:詳しくは、店頭ポスターや雑誌広告、チラシなどをご覧いただくか、キャンペーン係(フリーダイヤル0120-01319-819)へ直接おたずねください。

『YES S ナイスライド募金贈呈式』を開催!! 376万円を財団日本盲導犬協会へ贈呈

『目の不自由な人々に盲導犬を贈ろう』を合言葉に、'89年より継続して実施中の『YES S ナイスライド募金』キャンペーン。このほど、昨年度集計の募金がまとまり、3月8日、合計376万7656円を財団日本盲導犬協会に贈る『YES S ナイスライド募金贈呈式』が都内のホテルで開催された。

会場で募金の目録を手渡された同協会の久堀三紀也理事・事務局長は、『ナイスライド募金がスタートしたのは、協会の財政が最も苦しい時期でした。以来、たくさんの方から協力をいただき、少しずつですが設備面の充実も図られています。今後も視覚障害者の社会復帰のために、職員一同努力してまいります。心こもった募金をありがとうございました。』

また贈呈式の会場には、二人の訓練士と二頭の盲導犬、ナティアとサリイも登場。

集まった報道関係者を前にして、日常訓練の実演なども行なわれました。なお、同キャンペーンは、本年も引き続いて実施します。みなさんのご協力をよろしく願います。



今回の募金により、'89年以降の募金総額は3,554万7,566円

町で聞いた CRANK CASE

ちょっといい話

“トレンドイユーザー”を考える

このところ、ご存じのようにレトロチックなスタイルのバイクが大きな流行を見ている。昨年、SR400が発売以来最高の売上げを記録したことや、50ccビジネスバイクのカスタムが注目されていることなどもそのひとつで、バックボーンタイプ車からスクーターにまで飛び火。特に高校生をはじめとする若いユーザーの間で急速に広がった。アメリカンも同様だ。50ccからリッターオーバーの大型車まで、さまざまなモデルが人気を呼んでいる。

しかしこの両者は、かつてヤマハが“テイスティ”というひとつのカテゴリーで括っていたように、バイクの形こそ違え、お互いのユーザー傾向を見るかぎり共通点が多い。バイクの走行性能や機能ばかりを追わず、走ることよりもむしろ乗り味やライフスタイルを優先する楽しみ方。そのこだわりが強くなるにつれて、アメリカン派や旧車派、さらにはシングル派、ツイン派などに枝分かれしていくのだ。

「そういうお客さんは、だんだんカスタムショップや用品ショップと仲良くなっちゃうんだけどね」と、某店のA社長は苦笑する。「でも、バイクが好きで乗り続けてくれればウチと縁が切れるわけじゃない。問題は、流行だけでバイクに乗ると離れていくのも早いってこと。最近、初めてバイクを買うのにレトロ、アメリカンを選ぶ若い人が多いでしょ。彼らはバイクを楽しむことが目的じゃなく、洋服やアクセサリーと同じ、見せることが目的。人に注目されなくなったら、バイクなんか見向きもしないってパターンが一番コワイ」

とはいえ、せっかく新しいお客さまを獲得するチャンス。「オフやミニバイクがブームの時みたいにはいかないだろうけれど、ウチのやり方はやっぱり変わらないよ。イベントにどんどん誘って、徹底的に走らせる。これしかないんじゃないかな。とにかく売れりゃいいって見方もあるんだろうけど、私は違う。お客さんが喜んで代替えしたり増車したりしてくれる、そういう商売がしたいね」

WORLD TOPICS

欧州向けYZF1000 Road Worlderの プレス試乗会を南アフリカで開催

ヤマハのヨーロッパ現地法人Y.M.E.N.V.では、1月末から2月上旬にかけて、今年新発売するニューモデル『YZF1000 Road Sander Eース』と『YZF600 R サンダーキヤット』のプレス向け試乗会を南アフリカ共和国で開催しました。

この2モデルは、昨年の東京モーターショーでも参考出品して好評を博したスポーツバイク。国内での注目度も高いことから、今回はヨーロッパ各国のプレスに加えて6名の日本人プレス関係者も参加しています。

会場となるケープタウンに到着した一行は、まずその日に技術説明を受けた後、翌

日から2日間にわたって試乗。雄大な自然の大地を走る快適なロードで、じっくり乗り味をテストしたり、写真撮影に取り組みしていました。

そのなかで、YZF1000Rについては「見大柄に見えるが、疲れを感じさせないライディングポジションと、驚くべき扱いやすさ。145馬力を誇るエンジンについても、ライバルたちが欲しくてたまらないと感じるほどすばらしい、4ピストンブレイキ」といった声が聞かれました。ヨーロッパでのYZFシリーズ人気をさらに拡大するモデルとなりそうです。

高いスポーツ性と独特のエアロフォルムが好評を得た



ついに完走！オーストラリア3万km 頼もしい『ギア』よ、ありがとう！

ヤマハ「ギア」を使って、オーストラリアツーリングに出発。50ccバイクの限界にチャレンジした森野慎司さんですが、1月21日、無事スタートとゴール地点のシドニーに帰着しました。

昨年6月にスタートして以来、2カ月の中断をはさみながらも延べ5カ月間、3万6000kmを走破したことになります。

ツーリングに必要な装備と身の回り品のほか、本職の風景写真撮影のためにカメラを納める大型アルミボックスと三脚などの大荷物を抱え、「仕事半分、趣味半分」で出かけた旅。トラベル・イズ・トラブルなどという人もいるように、出発間もないブリズベンでバスポートをなくしたことに始まって、ダイビング免許を取ろうとして健康診断糖尿病の疑いをかけられたり、走行中フラヒーにぶつかってしまったり失敗は数々ありましたが、森野さんにとってそんなことはほんの「愛敬」。

壮大な熱帯雨林と温原が広がるカカドゥ



「次は6月からオーストラリア内陸部をT T250 Rで走るつもり」とか

ドラッグスターに、ルネッサに出会える！『ヤマハスポーツジャンボリー』開催中

春。スポーツバイクのニューモデルが出そろいました。

お客さまにとっては、「次はどのバイクにしようかな」「思いきって買い替えようか」などなど、目移りしながらあれこれ悩む、楽しい季節。そんな揺れる心をうまく盛り上げ、新規購入、代替えにつなげたいものです。

そこで、ヤマハは営業拠点ごとに全国39会場で開催、「96ヤマハスポーツジャンボリー」を開催。ドラッグスターやXJR400R、XJR1200R、マジスティといった人気モデルの試乗車、展示車をスラリーと並べてお客さまの来場をお迎えしています。

今年1年の期待と決意を新たに！ 全国で販売店ミーティング開催

さまざまなニューモデルが店頭を飾り、多くのお客さまで賑わう春商戦。今年1年の二商売のカギを握る時期だけに、どちらのお店も大いにはりきっておられるところでしょう。

そこでヤマハでは、そうしたお店を精いっぱいサポートする意思表示を行ない、またお自身も二健闘を期待する意味で、1月から2月にかけて、全国のヤマハ販売会社や営業拠点ごとに「販売店ミーティング」を開催。予想される今年の市場背景からユーザー動向、主力商品となるドラッグスターやロイヤルスター、YB11などの説明を行ない、あるいは意見交換の場を設けるなどして、ともに販売アップ、業績拡大に取り組もうと誓い合いました。



東京地区では、2月6日、およそ600店あまりの参加を得て開催。大きな盛り上がりを見せた

「江戸前、バイク博覧会」 東京モーターサイクルショー開催

バイクの春到来を告げる恒例イベント、第24回東京モーターサイクルショーが、4月5日(金)から7日(日)まで開催されます。今年はおなじみの晴海国際見本市会場に代わってオープンする有明・東京国際展示場。東京ビッグサイトを移し、その記念すべきオープニングを飾ります。

国内外のニューモデルや個性豊かなカスタムバイクが顔をそろえるほか、用品、部品、工具など周辺グッズの展示、販売も盛りだくさん。さらには、有名ライダーによるトークショーやサイン会、お楽しみ抽選会、ファーストエイド講習会といったイベントも楽しめます。

金曜・土曜は夜8時まで開場していますので、会社帰りにでも観覧可能です。

■第24回東京モーターサイクルショー
入場料：当日/おとな1600円・高校生1300円・中学生以下無料(前売り券は300円引き)。各レイトライドなどで発売

日時：4月5日(金)〜7日(日) 9時30分〜20時(7日のみ18時まで)

会場：東京ビッグサイト
東京都江東区有明3-21-1
TEL 03-5533-1111

スポーツジャンボリー/4月開催日程

- 【北海道】
 - 4月7日：函館/函館営業所
 - 4月14日：札幌/札幌営業所
 - 4月21日：釧路/釧路営業所
- 【東北】
 - 4月7日：郡山/総合卸センター
 - 4月13日：仙台/SUGOサーキット
 - 4月21日：青森/青森営業所
 - 4月28・29日：盛岡/ミヤノスポーツ
- 【関東・甲信越】
 - 4月6・7日：東京/千波駐車場
 - 4月7日：群馬/群馬自動車学校
 - 4月14日：西東京/日本自動車学校
 - 4月14日：松本/松本営業所
 - 4月14日：株ヶカハシ新潟支店/NAC
 - 4月21日：株ヶカハシ長岡支店/左に同じ
 - 4月21日：千葉/千葉営業所
 - 4月21日：栃木/東武教習所
 - 4月28日：株ヶカハシ上越出張所/左に同じ
- 【中部・北陸】
 - 4月14日：北陸/北陸営業所
 - 4月14日：岐阜/岐阜営業所
- 【関西】
 - 4月7日：奈良/奈良営業所
 - 4月9日：和歌山/和歌山営業所
 - 4月14日：姫路/姫路営業所
- 【中国・四国】
 - 4月7日：米子/米子営業所
 - 4月14日：福山/福山営業所
 - 4月14日：徳島/徳島営業所
- 【九州】
 - 4月6・7日：沖縄/ネーブルカティナ



会場によっては、豪華な商品があたるお楽しみ抽選会やドリンク、焼きそばをサービスするレストランコーナーを設けるなど、じっくり見て、触って、試乗していただけよう工夫が凝らされ、お客さまの評判も上々。なかには「これを買おうか迷っていたけど、いろいろ試乗できたので決心がついた」「遊びに来たつもりなのに、マジスティが欲しくなっちゃった」「帰りに店

3月10日には、北東京営業所が東京MCSショールームを会場として開催。折からの好天にも恵まれてたくさんのお客さまが試乗を楽しんだ

に寄って、見横りしてもらおうかな」という声も聞かれました。

このイベントは、4月後半まで各地で開催されます。

痛快！氷上スノーモビルリングを堪能 一般紙誌ジャーナリス向けスノーモビル試乗会



最新モデル'97VX700 LTを駆る。午前中実技講習でたっぷり走りこんだ後はニューモデル走行会でライディングを満喫

3月2日、北海道・サロマ湖上で、一般紙誌ジャーナリスト対象の「ヤマハスノーモビル体験試乗会」が行なわれ、13社・19名が参加。座学・実技のスノーモビルライセンスト講習会を受講後、猛烈な吹雪に圧倒されたつも、果敢にアタック、新しいウィンタースポーツとしてのスノーモビルを堪能しました。

今回の体験会は、'97年モデルの予約発表期間中で、また、ほとんどの参加者がスノーモビル初体験ということもあり、用意された試乗車種も多彩。

最新モデルのVXシリーズ(VX600S

RACING TOPICS

SX125でヤマハ勢好調！ ウィンダム、ダウドともランキングトップ！

AMAスーパーバークロス選手権は2月24日の段階で第6戦を終了、早くも中盤に入りました。

そのなかで期待のブラッドショーは、第5戦、サンディエゴ大会のプラクティス中に転倒。決勝は打撲の痛みを押しての出場で100%の走りができず、7位に終わりました。続く第6戦・アトランタ大会も、好スタートを切ったものの他車にフロントをすくわれてポジションダウン。レース後半にはトップと同等のラップタイムで挽回を図りますが、結局8位に留まり、ランキング7位。今後の巻き返しに期待したいところです。

一方125ccは、西地区で開幕3連勝していたウィンダムが、自宅で練習中に転倒して鎖骨を骨折。このためサンディエゴ大会を欠場しましたが、ランキングは依然スズキのJ・ドップと同ポイントでトップに立っています。また東地区に参戦しているダウドもアトランタ大会で初優勝/同時にランキングトップに躍りました。東西のダブルタイトル獲得へ向けて、注目が集まっています。

レースカレンダー(4月～5月)

月	日	世界選手権							全日本選手権			AMA選手権	
		F1	RR	ED	SB	125MX	250MX	500MX	RR	MX	TR	SX	INX
4	7	③アルゼンチン	②インドネシア	①ルマン24H								⑥6日 ⑦13日 ⑧17日	
	14			①サンマリノ	①イタリ	③ドイツ					②名阪	①近畿	
	21		③韓国			②スイス	④ポーランド	②オーストリア					⑩20日 ⑪20日 ⑫27日
5	28	④ヨーロッパ		②7日 →オランダ	②イタリ			②SUGO	③九州			②サクラメント ③サンバーナーディ	
	5	⑤サンマリノ			③スペイン	⑤イタリ	③フランス					②関東	
	12		②スペイン		③ドイツ	④オランダ	④ポルトガル					③筑波	⑩18日 ⑪27日
	19	⑥モナコ			④フランス	⑤ハンガリー	⑥アルゼンチン					④広島	④M モーリス
	26		⑤イタリ										

X/XTC/LT、VX700LT)をメインに、PZ480シリーズ、BR250と、参加者は排気量別のパワー感や操作の違い、そして、マシンの進化などを肌で体感することができ、そろってニューモデルの完成度の高さに驚いていました。

さらに「スキーより簡単に楽し」「氷の上を走ることがこんなに面白い」とは、「冬の企画はスノーモビルで決まり」など、参加者にとって新しい記事づくりの材料を提供した1日となりました。

RACING TOPICS

マールボロ記者会見に原田、阿部が出席 '96シーズンへの意気込みを語る

グランプリ・シーズン開幕を約1か月半月後に控えた2月14日、ヤマハGPチームのスポンサー、マールボロが、都内のホテルにおいてグランプリ参戦および新チーム体制の発表記者会見を行いました。



吉田恵介モーターサイクル事業部第5プロジェクト開発室室長がスノーモビルの現状と海外での普及状況を説明

今回の会見には、チーム・ロバーツの阿部典史とチーム・レイニーの原田哲也が出席。昨年、M・ピアッジ(アプリリア)とチャンピオン争いを展開した原田は、「タイヤが替わり、まだ戸惑っている段階」と言いながらも、「ピアッジと違うアイテムを持つことでアドバンテージを取り、流れを自分のほうに引き寄せてチャンピオンを狙いたい」と力強く発言。一方の阿部は、「僕はそんなレベルではないけれど(笑)、全戦表彰台を目指し頑張ります」とGPPL参戦2年目に賭ける意気込みを語りました。

また第一プロジェクト開発室の飯尾俊光室長は、ニューマシンの開発意図、今後の計画等を次のように説明しました。

「250についてはシャーシの一新、シートカウルの形状変更、エンジンの排気系統、点火系統の見直しを図り、YZR250として投入。YZR500と同じ位置付けとして考え、原田選手ひとりに絞ってチャンピオンを狙います。マシン開発は連続性のあるものなので、500についても同様ですが、常に開発を続け、新しいスペックを随時、入れていく予定です」

新たなチーム体制でチャンピオン奪回に燃えるヤマハ。原田、阿部、バイル、ロバーツJr、カピロツシの5名の活躍が楽しみです。



飯尾室長中央は、ふたりはヤマハの誇りです」と'96シーズンへの期待を語る。

RACE RESULTS

【AMA・SX250】
第5戦/サンディエゴ(2月10日)
①マクグラス ホンダ
②エミグ カワサキ
③ホッジス カワサキ

第6戦/アトランタ(2月24日)
①マクグラス ホンダ
②エミグ カワサキ
③ラロク スズキ

⑧ブラッドショー ヤマハ
⑩ルイス ヤマハ

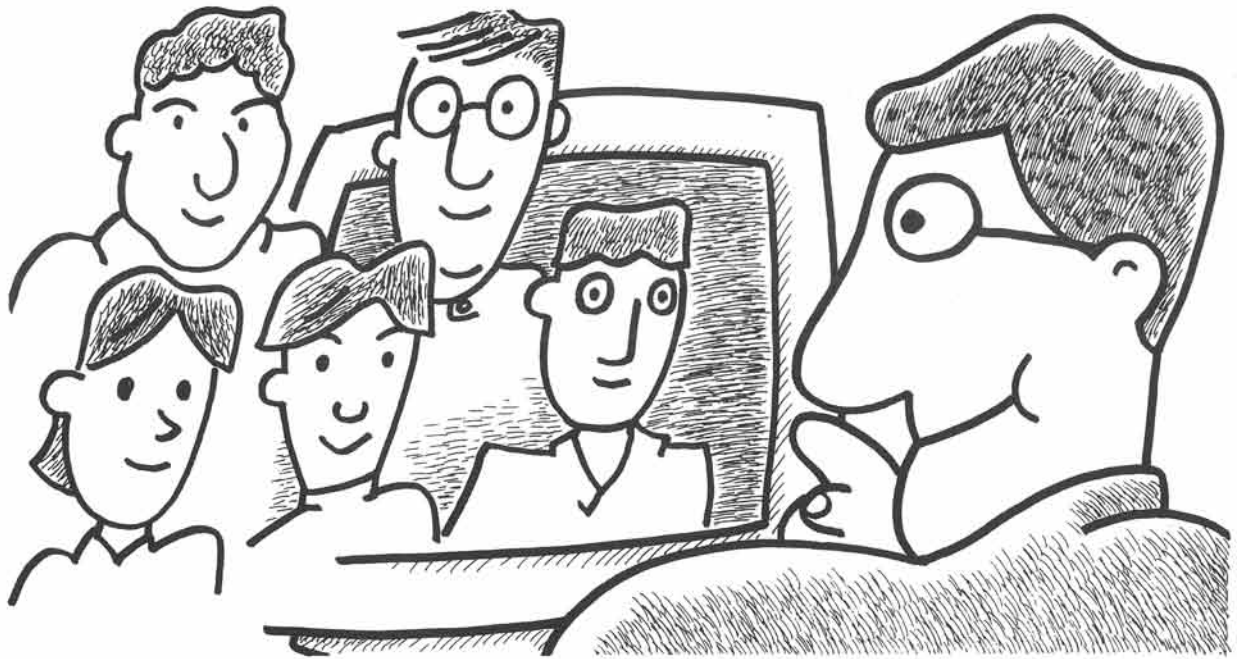
第7戦/テイトナビーチ(3月9日)
①マクグラス ホンダ
②ブラッドショー ヤマハ
③ハフマン カワサキ

【AMA・SX125】
西第4戦/サンディエゴ(2月10日)
①ウィロー ホンダ
②アスケナーズ スズキ
③ドップ スズキ

東第3戦/アトランタ(2月24日)
①ダウド ヤマハ
②ボガート スズキ
③ニース ヤマハ

⑤ケニー ヤマハ

東第4戦/テイトナビーチ(3月9日)
①ピジョン カワサキ
②ダウド ヤマハ
③フェリー スズキ



今月のテーマ

バイクOB

昨年、雑誌等のメディアで「マジエス ティ250プロモーションビデオ」のプレゼント・キャンペーンを告知したところ、予想をはるかに上回るたくさんの方の応募をいただきました。その集計データをながめていた際に、ひとつおもしろい発見をしましたので紹介してみましよう。

まず応募者の所有免許ですが、92%が自動二輪・小型・中型限定を含む免許を所有する(二元・現)ライダーです。ところがこのうち現在バイクを所有している人は、原付車を含めてもわずか74%しかありません。つまり4人に1人は免許を持ちながら、バイクを所有していない「OB」というわけです。

「いつの間にか店に来なくなった」「結婚を機に愛車を売りに来た」等、みなさんのお店にもバイクOBとなったお客さまがたくさんいるはず。バイクを手放してしまったわけですから、お店としてはビジネスの対象から外れてしまったように思えますが、果たして本当にそうなのでしょうか？

ビデオプレゼントに応募された4人に1人のOBライダーは、バイクへの興

味を失ってはいませんでした。その証拠に雑誌で見つけたプレゼントの告知に、わざわざハガキを送ると言う「反応」を見せてくださったのですから。

つまり、たとえ何らかの事情でバイクを手放してしまったお客さまでも、情報を集めるアンテナは今でもしっかりと張りめぐらせているのです。もしこのアンテナに引かかる情報をショップサイドから提供することができれば、現役ライダーにカムバックする可能性も少なくないでしょう。OBとなってしまうお客さまのデータも、積極的に活用することによって、まだまだ生きてきそうです。

こうしたデータを都内のある販売店さんに話してみたところ……

「本当に？ 4人に1人って数字が本当だとしたら、かなりの確率だね。うちも以前の顧客データを洗い直してみようかな」という反応が返ってきました。

3月からスタートした「週末はバイク人」キャンペーンも、バイクピギナーとバイクOBが対象です。この機会に、お店を離れたお客さまとのコミュニケーションを取り戻してはいかがでしょうか？

心地よい“マイルド発進特性”を更に強調
ニューグラフィック採用で商品力アップ

ヤマハスクーター『ジョグ』(CY50)

スクーター市場の主力モデルとして、幅広い人気を得ている

ヤマハスクーター『ジョグ』がグラフィック変更。

あわせて強化メインスイッチの採用、滑らかな発進性の実現等で商品性を高め、

'96モデルとして登場します。

経済的価格と扱い易い機能・性能への

信頼を一層高めました。

カラーリング全3色

- ブラック2
- シルキーホワイト
- ベリーダークブルーカクテル3



ベリーダークブルーカクテル3

ブラック2



<主な変更点&セールスポイント>

■ニューグラフィックの採用

基本色はそのまま継承、グラフィックを変更してファインなイメージを強調しました。

■強化メインスイッチの採用

■“マイルド発進特性”の強調

滑らかな発進性を実現するために、アクセル開度比・変速タイミングの最適化を図りました。

シルキーホワイト



グラフィック変更で新登場

ヤマハスクーター『ジョグスポーツ90』(CY90Z)

コンパクトな軽量ボディに90ccエンジン搭載の

一人乗り専用モデル『ジョグスポーツ90』は、

特に20代のヤングユーザーから人気を集めています。

ニューグラフィック採用の

'96モデルがラインナップに加わります。

カラーリング全2色

- ブラック2
- シルキーホワイト

シルキーホワイト



ブラック2



ヤマハスクーター
『ジョグスポーツ90』(CY90Z)

4月20日新発売

<メーカー希望小売価格>

175,000円

*北海道、沖縄及び一部地域を除く。価格には保険料、税金(含む消費税)、登録に伴う諸費用は含まれません。

ヤマハスポーツ『Renaissa』

軽二輪マーケットをリードする'96ニューモデル
トラディショナル・スポーツを提唱して、いよいよ発進!

'95年、7年ぶりの伸長で注目された軽二輪市場に、また新しいスポーツモデルの追加です。昨年のモーターショーで静かな人気を呼んだ『Renaissa』がいよいよデビュー。〈スポーツマインドとトラッド調のコンビネーション〉を具現化し、1.スポーツ性の高いパワーフィーリングと操縦性、2.快適性、3.カフェレーサータイプのイタリアンスタイルを高次元でバランスさせています。

〈主な特徴と「SRV250」との相違点&セールスポイント〉

■ **イタリアンを主張する外観デザイン**
フロントまわりの軽快な処理、シングルシート風のダブルシート、その他ニューデザインパーツの採用で、イタリアンスタイルを実現しています。「SRV250」との相違点(変更パーツ)は次の通りです。

●フューエルタンク ●ダブルシート ●テールカバー ●サイドカバー ●リアフェンダー ●テールランプ ●ヘッドライト ●ハンドル ●メーター ●ヘッドライトステー ●ハンドルクラウン ●ミラー ●スイッチハンドル ●フラッシャーランプ ●チェーンケース ●リム ●タイヤ ●ブラックカラーエンジン&マフラー等。

■ **60度Vツイン空冷エンジンの採用**
空冷Vツインエンジンを搭載しました。トルク感に優れるロングストローク型として低中速域での落ち着いた走りを実現する一方、26mmダウンドラフトツインキャブレター、デジタルフルトランジスター点火等、吸排気系や点火系の最適化により全域で軽快なレスポンスを実現しています。

■ **快適性の達成**
走行フィーリングのポイントのひとつ、排気音については、小鳥のさえずり等自然界の音に発見されている音の1/fゆらぎを応用し、自然界の法則に近く心地よい刺激を与える音を再現。また、ヤマハ独自のオーソゴナルエンジンマウント方式により、常用回転域では歯切れよい鼓動を体感でき、しかも高回転になるにしたがって振動が消えていく特性を実現しています。

■ **コントロール性に優れたフロントブレーキ**
フロントブレーキのレバー比を変更し、コントロール性の向上を図りました。

カラーリング全2色
●オレンジカクテル1
●ソルトレイクシルバー



オレンジカクテル1



ソルトレイクシルバー

ヤマハスポーツ『Renaissa』
4月1日 新発売

<メーカー希望小売価格>

399,000円

*北海道、沖縄及び一部地域を除く。価格には保険料、税金(含む消費税)、登録に伴う諸費用は含まれません。

'96ヤマハスポーツ『Renaissa』主要諸元

- 全長2060mm ●全幅685mm ●全高1050mm ●軸間距離1390mm ●シート高770mm ●最低地上高140mm ●乾燥重量142kg ●エンジン種類 空冷4サイクル・SOHC2バルブ ●気筒数配列V型2気筒 ●総排気量248cc ●内径×行程49.0×66.0mm ●圧縮比9.8:1 ●最大出力27PS/8,500rpm ●最大トルク2.5kgf・m/6,500rpm ●キャブレター型式BDS26 ●始動方式セル式 ●点火方式トランジスタ式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ ●オイル容量2ℓ ●クラッチ形式選式多板 ●変速機常時噛合式前速5段 ●燃料タンク容量11ℓ ●緩衝方式(前)オイルダンパー、コイルスプリング(後)オイルダンパー、コイルスプリング ●ホイールラベル(前/後)140mm/100mm ●ブレーキ形式(前)油圧シングルディスク(後)ドラム ●タイヤサイズ(前)90/90-18 51S(後)110/90-18 61S



TAKAI TT-338
レザーヴァツerringグローブ
¥8,500

高い防水性とフィット感を両立する天然皮革「レザーノヴァ」を採用したニューモデル。ファッションナブルなツートンカラーをラインナップしました。
●素材:甲/レザーノヴァ(牛)、掌/レザーノヴァ(牛)
●カラー:ブラック、ブラウン、キャメル、キャメル/ブラック、ブラック/キャメル
●サイズ:S、M、L、LL



TD-3 ¥15,800
内装に洗える本革「ウォッシュアブルレザー」を採用したアダルトな風合いのジェットタイプヘルメット。フル樹脂内装。
●規格:JIS B種 ●素材:FRP製
●カラー:コンペティションシルバー、プロテインブラック、ブラック
●サイズ:S、M、L、XL

ルネッサの世界をさらに広げる 10色セレクション カラーオーダーシステム登場

全10色の豊富なバリエーションでカラーオーダーシステムが新発売に合わせて設定されます。フロントフェンダー、ヘッドライトボディ、フューエルタンク、シートカウルの4点の塗り替えセットが、約3週間で完成。新車成約時に、是非ご案内ください。



C ベリーダークマゼンタカクテル1



D ダークシアンカクテル2



E ニューパールホワイト



F パーブリッシュブルーメタリック7



G ヒートレッド



H カメリアグリーン



I グレイッシュシアンカクテル1



J ボーダーブラウン

カラーオーダーシステム希望小売価格 29,000円

- 新車購入時のみの適用となります。
- 車体価格は含まれません。
- 補修カラーパーツを用意しています。



取扱い 株式会社ワイ・イー・シー ☎0538 37 4488

新色「ファインレッド」追加で
バリエーション充実

ヤマハ『YB-1』

レトロファッションを表現した50ccスポーツ「YB-1」は、今年1月からの市場導入にヤングユーザーからの新しい共感が寄せられていますが、春の需要期に向けてファッションなブルな新色を追加。幅広いニーズに応えます。

ヤマハ『YB-1』

「ファインレッド」
4月1日 発売

<メーカー希望小売価格>

179,000円

*北海道、沖縄及び一部地域を除く。
価格には保険料、税金(含む消費税)、
登録に伴う諸費用は含まれません。

ファインレッド



'96モデルに新色採用

ヤマハトトレール『DT50』

スポーツエントリーモデルとして人気の『DT50』が、ニューカラーで登場します。「TT250R Raid」のイメージを彷彿とさせる白/青系、都会のストリートで映えるブラック系の2色を設定しました。また、プッシュキャンセルフラッシャー採用により、使い勝手の向上を図っています。

ヤマハトトレール『DT50』

4月20日 発売

<メーカー希望小売価格>

199,000円

*北海道、沖縄及び一部地域を除く。
価格には保険料、税金(含む消費税)、
登録に伴う諸費用は含まれません。

ヤマハブラック



カラーリング全2色

- パーブリッシュホワイトソリッド1
- ヤマハブラック



パーブリッシュホワイトソリッド1



ドラッグスター用
ポルトオンパーツ
シットガンシート
¥15,800

小柄なドラッグスター・オーナーのライディングポジションをサポートする専用タンデムシート。ロングツーリングでの快適性が向上します。



AWE SERIES RY-361
AWE-サイバートックスブルゾン
¥14,800



ヤマハ独自の開発による耐水性と透湿性を兼ね備えた新素材「サイバートックス」を採用。ライディングポジションにフィットする立体裁断との相乗効果で、快適な走行を可能にするハイコストパフォーマンスモデル。
●素材：表/サイバートックス、裏/ナイロンメッシュ
●カラー：ワインレッド、ブラック、パープルネイビー、シルバー
●サイズ：S(限定)、M、L、LL、3L(限定)



RY-737 サイバートックスレインスーツ
¥9,900

軽量(900g)かつコンパクトでソフトな着心地の汎用マルチレインスーツ。素材にはヤマハ独自の「サイバートックス」を採用しています。
●素材：表/サイバートックス、裏/ナイロンメッシュ
●カラー：パープルネイビー、ターコイズブルー、パープルネイビー/ターコイズブルー、
●サイズ：M、L、LL、3L

YAMAHA AD CLIPS

週末は、バイク人。

はじめませんか？

週末、バイクに乗る楽しさを、再び。そしていつまでも忘れないでほしいから「週末はバイクに乗ろう」と訴えます！

週末、バイクに乗る楽しさを、再び。そしていつまでも忘れないでほしいから「週末はバイクに乗ろう」と訴えます！

週末、バイクに乗る楽しさを、再び。そしていつまでも忘れないでほしいから「週末はバイクに乗ろう」と訴えます！



YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社

ヤマハマジスティ250(1名様)
ヤマハスポーツ50cc YU-11(5名様)
マジスティチェンカード(500名様)

さて、さっそく、週末 バイクライフを楽しんでみませんか？

応募していませんか？...あなたの「週末バイクライフ」大募集。

週末バイク人 キャンペーン

3月24日発売の「週刊ポスト」(週刊現代)などに掲載したキャンペーン広告(はじめませんか編)の後、さまざまな展開編も登場する

週末バイクライフ懸賞論文応募要項

1. 応募資格：年齢・性別・専攻の別は問いません。17歳以上の高校生以上の学生が対象です。

2. 応募期間：1996年3月24日(土)から9月30日(日)までです。

3. 応募方法：週刊ポスト、週刊現代、週刊ヤングジャンプ、週刊ヤングマガジン、週刊ヤングサンデー、週刊ヤングエース、週刊ヤングチャンピオン等の雑誌に掲載された「週末バイクライフ」のコーナーに、応募用紙を添付して応募してください。

4. 応募内容：週末バイクライフの楽しさや魅力をテーマにした、1000文字以内の短文(随筆、エッセイ、随想、日記、手紙、詩、小説、戯曲、漫画、挿絵、写真、イラスト、絵画、工芸、模型、工作品、その他)を応募してください。

5. 応募料：ありません。

6. 応募先：〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社 広報室 懸賞論文係

ヤマハでは、春から秋のツーリングシーズンにかけて、スポーツバイクの市場活性化を目的とした「週末はバイク人」キャンペーンを展開しています。これは、さまざまな告知活動やイベントを通じて、現在バイクライフを満喫しているライダーはもちろん、これから自分らの楽しみ方を探そうとしているお客さまや一度バイクから離れた人など幅広い層に向けて「週末はバイクに乗ろう!」と誘いかけるものです。

とりわけ、昨今のスポーツバイク需要を支えるのは30~40歳代を中心とするアダルト層であり、最初のアプローチはそれを重点において考えました。

ここでご紹介する雑誌広告や店頭にお配りしたポスターも、その方法のひとつです。

アイキャッチとなるメインビジュアルに、コンピューターとスポーツバイクを結びつけるモデルとしてマジスティを採用。さらに、キャッチコピーおよびボディコピーは「はじめませんか?」と語りかける、落ち着いたオトナらしいトーンで表現しました。

こうした告知活動は、今後3月から9月までパターンを変えながら、全国版の週刊誌やスポーツ新聞、専門誌などを通じて継続展開します。ぜひ店頭でも話題づくりにご活用ください。

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社